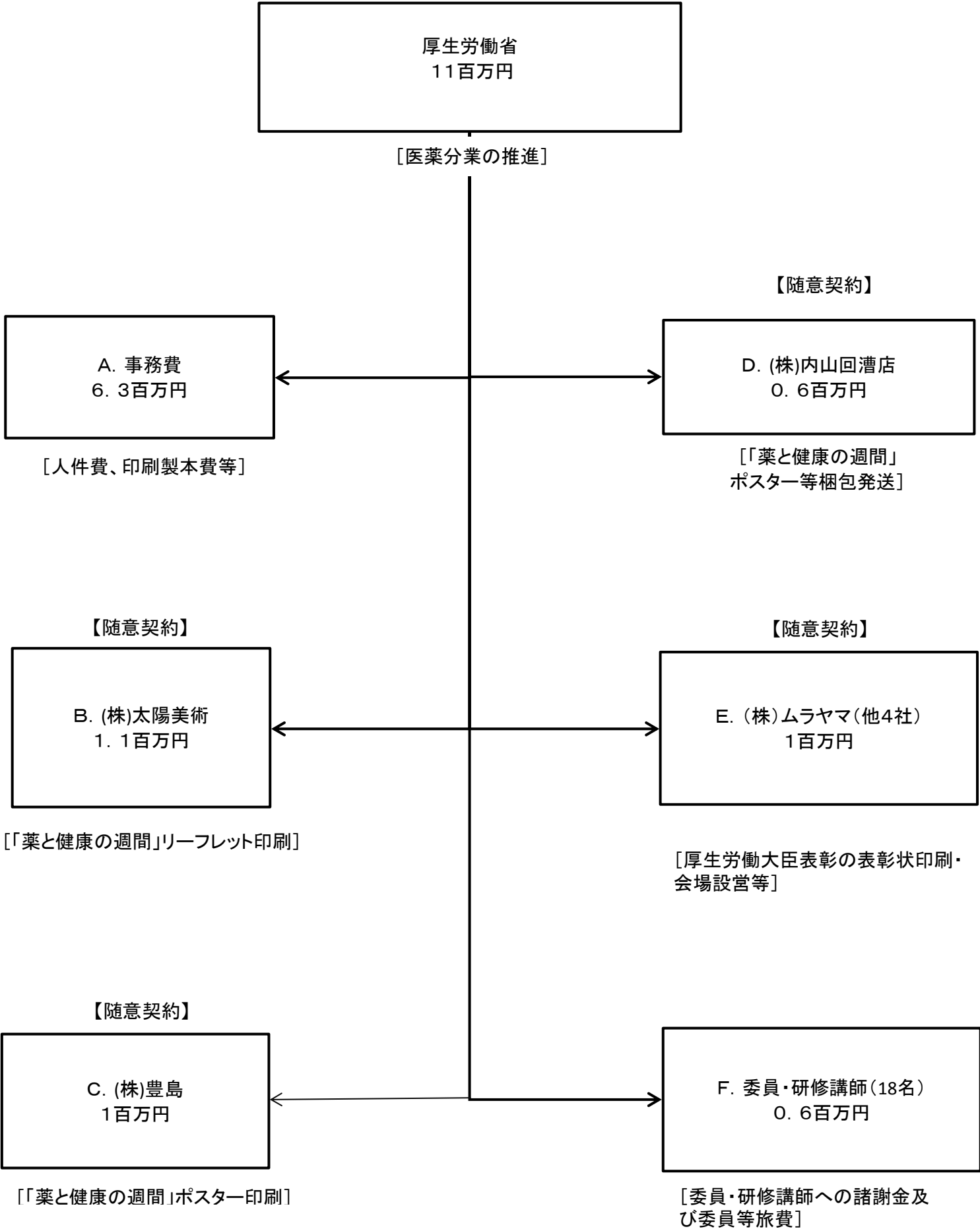


事業番号												207					
平成 2 6 年行政事業レビューシート														(厚生労働省)			
事業名		医薬品適正使用推進事業				担当部局庁		医薬食品局			作成責任者						
事業開始・終了(予定) 年度		開始年月日:昭和50年度 終了年度:終了予定なし				担当課室		総務課			課長 鎌田 光明						
会計区分		一般会計				政策・施策名		I－6－3 医薬品の適正使用を推進すること									
根拠法令 (具体的な条項も記載)		－				関係する計画、通知等		薬剤師法の一部を改正する法律案に対する附帯決議 (平成16年5月13日 参・厚生労働委員会)									
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		医薬分業の推進及び医学・薬学の変化に伴う薬剤師が具備すべき知識技能の養成について検討する。															
事業概要 (5行程度以内。別添可)		1. 毎年10月17日からの一週間を「薬と健康の週間」として、医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識の普及啓発を実施 2. 地方自治体及び各都道府県薬剤師会の医薬分業担当者に対する「医薬分業指導者協議会」の開催 3. 行政処分を受けた薬剤師を対象とした再教育研修事業															
実施方法		■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他															
予算額・執行額 (単位:百万円)				23年度		24年度		25年度		26年度		27年度要求					
		予算 の 状 況	当初予算		24		12		12		20		22				
			補正予算		－		－		－		－						
			前年度から繰越し		－		－		－		－						
			翌年度へ繰越し		－		－		－								
			予備費等		－		－		－		－						
		計		24		12		12		20		22					
		執行額		19		10		11									
		執行率(%)		79%		83%		91%									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位		23年度		24年度		25年度		目標値 (26年度)	
		医薬分業の推進については医薬分業率(全国・地域別)が前年度以上(/毎年度)であることが成果目標に該当。				成果実績		%		64.6		66.1		集計中			
						目標値		－		前年度以上		前年度以上		前年度以上		前年度以上	
						達成度		%		102.4		102.3		－			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位		23年度		24年度		25年度		26年度活動見込	
		啓発資材配布数(ポスター、リーフレット) 医薬分業指導者協議会開催回数				活動実績		－		ポスター54,700部、 リーフレット94,400部、 協議会1回		ポスター55,950部、 リーフレット95,900部、 協議会1回		ポスター56,550部、 リーフレット95,900部、 協議会1回		――	
						当初見込み		－		ポスター44,000部、 リーフレット176,000部、 協議会1回		ポスター44,000部、 リーフレット176,000部、 協議会1回		ポスター44,000部、 リーフレット176,000部、 協議会1回		ポスター44,000部、 リーフレット176,000部、 協議会1回	
単位当たりコスト		算出根拠						単位		23年度		24年度		25年度		26年度見込	
		単位当たりコスト = X / Y X:「事業の執行額」 Y:「啓発資材部数」				単位当たりコスト		円		約36(円/啓発資材)		約34(円/啓発資材)		約34(円/啓発資材)		－	
						計算式		X / Y		5,313,235円 /149,100		5,112,704円 /151,850		5,126,910円 /152,450		－	
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目		26年度当初予算		27年度要求		主な増減理由										
	医薬品審査等業務庁費		11.5		13.6		印刷製本費等の増額要求による増										
	庁費		5.7		5.7												
	職員旅費		1.4		1.4												
	委員等旅費		0.8		0.8												
	諸謝金		0.5		0.5												
	計		20		22												

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本事業は、国民の保健衛生の維持向上に寄与するものであることから、国民のニーズがあり、また国費により実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	薬剤師の再教育研修や医薬分業推進に関する事業であり、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	医薬分業の推進や薬剤師の知識技能の養成を目的とする事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	価格や業務内容を考慮し、最適な業者を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－	－	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	単位あたりコストの削減に努めており、コスト水準は妥当と考える。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	費目・使途は、事業目的のため必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－	－	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－	－	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	リーフレットは見込みより少ないが、より人の目につきやすいポスターを増したことで活動実績に見合ったものになっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	ポスター、リーフレットは、都道府県や関係法人に配布し、ご活用いただいている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	各種施策は、医薬分業を推進するために必要な事項を、各地域の必要性に応じて総合的に行うものであり、分業率の上昇に見られるように、医薬分業の推進に寄与していると考えられる。さらに医薬分業を定着させるため、その質を向上させる施策について充実させていく必要がある。				
	改善の方向性	医薬分業等の推進に必要な経費であり、執行状況等を精査し、適切な予算を措置する。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	点検結果も妥当であり、また、医薬分業の推進や薬剤師再教育に必要な経費であることから、引き続き必要な予算の確保及び適正な執行を図ること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	－					
備考						
－						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	197	平成24年	166	平成25年	193

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.事務費			C.(株)豊島		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	賃金職員の雇用に必要な経費	2.1	印刷製本費	「薬と健康の週間」ポスター印刷	1
	職員旅費	職員の旅費	1.6			
	印刷製本費	質問主意書の印刷	0.9			
	雑役務費	複写機の保守等	0.8			
	その他	会議費等	0.5			
	消耗品費	消耗品の購入	0.4			
	計		6.3	計		1
	B.(株)太陽美術			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	印刷製本費	「薬と健康の週間」リーフレット印刷	1.1			
	計		1.1	計		0.0

支出先上位10者リスト

A. 事務費

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	庶務業務	2.0		
2	(有)正陽印刷	主意書等印刷業務	0.9	随意契約	-
3	(株)リコー	複写機の保守	0.4	随意契約	-
4	(有限)タケマエ	消耗品	0.3	随意契約	-
5	富士ゼロックス(株)	複写機の保守	0.3	随意契約	-
6	資金前渡官吏	ICカード	0.2		
7	(株)医薬経済社	RISFAX	0.2	随意契約	-
8	(株)時事通信社	時事通信社IJAMPサービス	0.1	随意契約	-
9	(株)じほう	日刊薬業WEB利用料	0.08	随意契約	-
10	協新流通デベロッパー	運搬業務	0.05	随意契約	-

B.(株)太陽美術

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)太陽美術	「薬と健康の週間」リーフレット印刷	1.1	随意契約	-

C.(株)豊島

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)豊島	「薬と健康の週間」ポスター印刷	1	随意契約	-

D.(株)内山回漕店

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)内山回漕店	「薬と健康の週間」ポスター等梱包発送	0.6	随意契約	-

E. (株)ムラヤマ

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ムラヤマ	平成25年度薬事功労者厚生労働大臣表彰式の会場設営	0.3	随意契約	-
2	特定非営利活動法人 日本セルフセンター	平成25年度薬事功労者厚生労働大臣表彰記念品購入	0.3	随意契約	-
3	(株)オオニシ	平成25年度薬事功労者厚生労働大臣表彰記念写真購入	0.1	随意契約	-
4	(株)大和総合印刷	平成25年度薬事功労者厚生労働大臣表彰関連印刷	0.1	随意契約	-
5	(有限)タケマエ	消耗品	0.1	随意契約	-

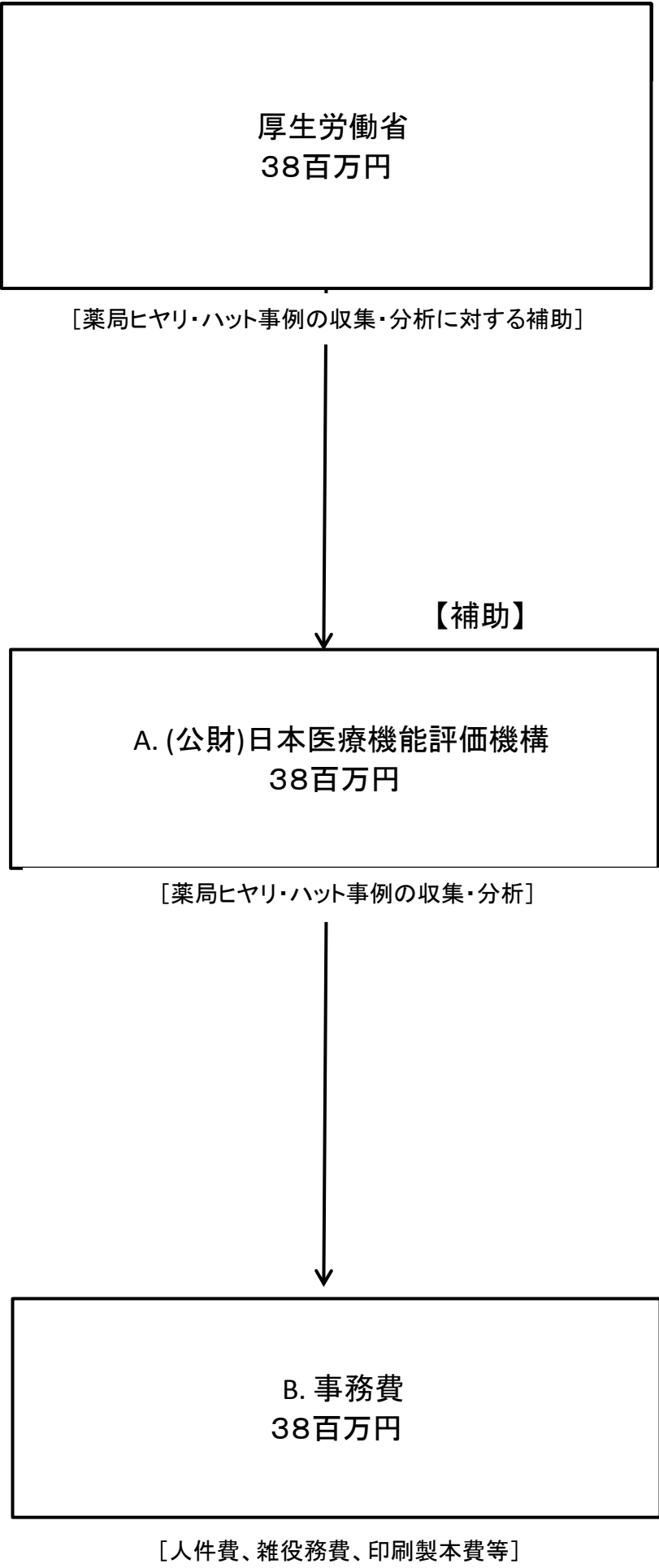
F. 委員・研修講師

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員・研修講師A	会議出席・研修講師	0.06		
2	委員・研修講師B	会議出席・研修講師	0.04		
3	委員・研修講師C	会議出席・研修講師	0.04		
4	委員・研修講師D	会議出席・研修講師	0.04		
5	委員・研修講師E	会議出席・研修講師	0.04		
6	委員・研修講師F	会議出席・研修講師	0.04		
7	委員・研修講師G	会議出席・研修講師	0.04		
8	委員・研修講師H	会議出席・研修講師	0.04		
9	委員・研修講師I	会議出席・研修講師	0.03		
10	委員・研修講師G	会議出席・研修講師	0.03		

平成２６年行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		薬局医療安全対策推進事業			担当部局庁		医薬食品局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		開始年度:平成20年度 終了予定年度:終了予定なし			担当課室		総務課		課長 鎌田 光明	
会計区分		一般会計			政策・施策名		Ⅰ－６－３ 医薬品の適正使用を推進すること			
根拠法令 （具体的な条項も記載）		－			関係する計画、通知等		医療安全対策検討ワーキンググループ「今後の医療安全対策について」報告書(平成17年5月)			
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、医療安全の確保を目的とする。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）		薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、その発生原因等を分析して再発防止に役立てる。 【補助率:10/10】								
実施方法		□直接実施 □委託・請負 ■補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 （単位:百万円）				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
		予算の状況	当初予算	38	12	38	39	38		
			補正予算	－	－	－	－			
			前年度から繰越し	－	－	－	－			
			翌年度へ繰越し	－	－	－	－			
			予備費等	－	－	－	－			
		計		38	12	38	39	38		
		執行額		38	12	38				
		執行率（％）		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	23年度	24年度	25年度	目標値 （26年度）
		本事業は単に参加登録するだけでなく、実際にヒヤリハット事例を報告する環境が整った(医療安全の意識が高まった)薬局の数を把握するため、事業参加薬局のうち報告のあった薬局数を成果指標とした。			成果実績	報告薬局数	726 (23年1～12月)	798 (24年1～12月)	集計中	
					目標値		前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上
					達成度		％	125	110	－
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
		本事業への参加薬局件数			活動実績	参加薬局件数	6,055 (23年1～12月)	7,166 (24年1～12月)	集計中	－
					当初見込み		前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上
単位当たりコスト		算出根拠				単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
		単位当たりコスト＝X／Y X:補助金執行額 Y:薬局ヒヤリ・ハット報告件数			単位当たりコスト	円	4,564(円/1件)	1,899(円/1件)	4,934(円/1件)	－
					計算式	X／Y	37,664千円/8,252件	12,196千円/6,423件	38,220千円/7,747件	－
平成26・27年度予算内訳 （単位:百万円）	費 目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金		39	38						
	計		39	38						

事業所管部局による点検・改善					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、国民の保健衛生の維持向上に寄与するものであることから、国民のニーズがあり、また国費により実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	全国の薬局におけるヒヤリ・ハット事例の発生予防・再発防止を図ることを目的としている事業であり、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	国民の保健衛生の維持向上に寄与する事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	公募により選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	本事業の参加薬局は増加しているため、コストの水準は妥当であると考える。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		－	－	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		－	－	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	薬局参加件数は、前年度を上回る実績となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	分析した収集事例等を関係機関に周知することにより、薬局におけるヒヤリ・ハット事例の再発防止に活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		○	本事業は、薬局におけるヒヤリ・ハット事例の収集事業で、類似事業は医療機関におけるヒヤリ・ハット事例の収集事業となっており適切な役割分担となっている。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	072	医政局医療事故情報収集等事業	厚生労働省・医政局		
点検・改善結果	点検結果	本事業は20年度にシステムを構築し、21年度から運用を開始した事業であり、26年度も引き続き対象薬局数の拡大を予定しているところである。今後もヒヤリ・ハット事例の発生予防・再発防止を図るため、事業内容の検討を継続して行う。			
	改善の方向性	限られた予算の中で対象薬局数の拡大とヒヤリ・ハット事例を全国的に共有することで、医療安全に寄与できるよう、効率的に事業を実施する。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果も妥当であり、また、薬剤師等の人的要因による医薬品健康被害の発生防止に資する経費であることから、引き続き必要な予算の確保及び適正な執行を図ること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	－				
備考					
－					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成23年	198	平成24年	167	平成25年 194

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(公財)日本医療機能評価機構					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	システム改修費、アウトソーシング費用、SE運用サポート、他	16.4			
	人件費	医師、派遣職員の給与	15.2			
	印刷製本費	年報等の印刷	1.9			
	その他	事務所借料、会議費等	2.5			
	通信運搬費	年報等の発送	1.2			
	旅費・謝金	評価部会参加委員への旅費・謝金	0.6			
	消耗品費	図書及び封筒等の購入	0.4			
	計		38	計		0

支出先上位10者リスト
A.(公財)日本医療機能評価機構

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本医療機能評価機構	薬局ヒヤリ・ハット事例の収集・分析	38		

B.事務費

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	システム改修、アウトソーシング、SE運用サポート、回線使用	15	随意契約	－
2	テンプスタッフ(株)	派遣職員給与	7.1	随意契約	－
3	(株)国際総合技術	派遣職員給与	2.5	随意契約	－
4	学校法人東洋高等学校	事務所賃借、光熱水料	1.7	随意契約	－
5	大和総合印刷(株)	年報・パンフレット印刷製本、PDF検索機能用ファイル制作	1.4	随意契約	－
6	(株)ディーズラボ	事業参加登録薬局へのお礼状印刷・発送	1.3	随意契約	－
7	富士テレコム(株)	ハードウェア・SPSS保守、HP(静的コンテンツ)管理	1.0	随意契約	－
8	東京センチュリーリース(株)	薬局ヒヤリ・ハット収集サーバーリース	0.6	随意契約	－
9	(株)スタッフサービス	派遣職員給与	0.5	随意契約	－
10	リコージャパン(株)	プリンターカウンター料金	0.4	随意契約	－

事業番号										209	
平成 2 6 年行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名		薬剤師生涯教育推進事業			担当部局庁		医薬食品局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		開始年度：平成22年度 終了年度：終了予定なし			担当課室		総務課			課長 鎌田 光明	
会計区分		一般会計			政策・施策名		I－6－3 医薬品の適正使用を推進すること				
根拠法令 （具体的な条項も記載）		－			関係する計画、通知等		・平成21年5月21日厚生労働省発医政0521001号「医療関係者養成確保対策費等補助金、医療関係者研修費等補助金及び臨床研修費等補助金の国庫補助について」				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		医療技術の高度化・専門分化が進展する中、より良い医療を患者に提供していくために、病院や地域におけるチーム医療に貢献する薬剤師を養成することを目的とする。									
事業概要 （5行程度以内。別添可）		病院や薬局等に勤務している薬剤師を対象として、病院や地域におけるチーム医療に貢献するために必要な知識及び技能を習得させるため、医療現場等において医師や看護師等と協働した高度な医療に関する実務研修等を行う。 【補助率：10/10】									
実施方法		□直接実施 □委託・請負 ■補助 □負担 □交付 □貸付 □その他									
予算額・執行額 （単位：百万円）				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求			
		予算の状況	当初予算	21	18	15	15	15			
			補正予算	－	－	－	－				
			前年度から繰越し	－	－	－	－				
			翌年度へ繰越し	－	－	－					
			予備費等	－	－	－	－				
		計		21	18	15	15	15			
		執行額		21	18	13					
		執行率（％）		100%	100%	91%					
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	23年度	24年度	25年度	目標値 （26年度）	
		基準調剤加算（1及び2）の届出件数 ※基準調剤加算1…近隣の薬局と連携して24時間調剤等の体制を整備等 ※基準調剤加算2…自局単独で24時間調剤等の体制整備、在宅実績の要件化等			成果実績	件	27,995	28,519	集計中		
					目標値	－	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上	
					達成度	％	105	102	－		
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
		本事業への参加人数			活動実績	人	471	477	357	－	
					当初見込み		400	320	360	－	
単位当たりコスト		算出根拠				単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
		単位当たりコスト＝X／Y X：事業の執行額 Y：本事業への参加人数			単位当たりコスト	人	45千円/本事業への参加人数1人あたり	38千円/本事業への参加人数1人あたり	37千円/本事業への参加人数1人あたり	－	
					計算式	X／Y	21,054千円/471人	17,907千円/477人	13,232千円/357人	－	
平成26・27年度予算内訳 （単位：百万円）	費 目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由						
	医療関係者研修費等補助金		15	15							
計		15	15								

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本事業は、国民の保健衛生の維持向上に寄与するものであることから、国費により実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	チーム医療の推進に貢献する薬剤師を養成することを目的としており、国が実施すべき事業といえる。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	チーム医療の推進に貢献する薬剤師を養成することを目的としており、優先度の高い事業といえる。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	支出先は、公募により選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	多くの参加者が本事業へ参加するよう努めており、また、前年度の単位あたりのコストを下回っており、妥当な水準といえる。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	費用は、事業実施に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			○		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－	－	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績はおおむね見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			－	－	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			○	当該事業は、薬剤師向けの研修事業で、類似事業は看護師向けの研修事業となっており適切に役割分担されている。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	004-018	医政局看護職員資質向上推進事業	厚生労働省・医政局			
点検・ 改善 結果	点検結果	研修会では、講義、手技研修、症例検討を行い、受講者からの全体協議やアンケート結果からも評価を得た。 なお、昨年と比較して研修参加者が減少しているのは、研修会場の収容人数や他の研修会との兼ね合いで減少したと考える。 本事業の研修に参加できなかった方向けにDVD教材を作成、配布し資質向上を図った。				
	改善の 方向性	チーム医療の推進に必要な薬剤師の資質向上を図る研修について、研修内容の精査、メディア化するなど引き続き効果的な事業となるよう適切な予算措置に努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	点検結果も妥当であり、また、医療機関や地域におけるチーム医療において対応・活躍できる薬剤師の養成に必要な経費であることから、引き続き必要な予算の確保及び適正な執行を図ること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	－					
備考						
－						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	856	平成24年	743	平成25年	195

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

厚生労働省
13百万円

[チーム医療や地域医療の推進に貢献する薬剤師を養成する]

【公募・補助金】

A.公益社団法人日本薬剤師会
13百万円

[先進的な取組を行う病院・薬局において実地研修を行うための企画立案・調整を行う]

B.事務費
4. 4百万円

C.薬剤師会旅費(47)
8. 6百万円

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.公益社団法人日本薬剤師会			B.(株)電通パブリックリレーションズ		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	講師等への旅費	8.6	印刷製本費	研修等に必要な教材の製作	2.7
	印刷製本費	研修等に必要な書類の印刷	4			
	会議費	弁当代等	0.2			
	通信運搬費	郵送料	0.1			
	謝金	講師等への謝金	0.1			
	計		13	計		2.7

支出先上位10者リスト

A.公益社団法人日本薬剤師会

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人日本薬剤師会	病院・薬局において実地研修を行うための企画立案・調整	13		

B.事務費

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)電通パブリックリレーションズ	研修教材制作	2.7	随意契約	-
2	(株)ケアネット	研修教材収録・制作	1.1	随意契約	-
3	ピーコム(株)	研修教材収録・制作	0.5	随意契約	-
4	日本料理 月村	会議費	0.1	随意契約	-
5	ヤマト運輸(株)	研修教材発送代金	0.03	随意契約	-
6	(株)梅もと	会議費	0.02	随意契約	-

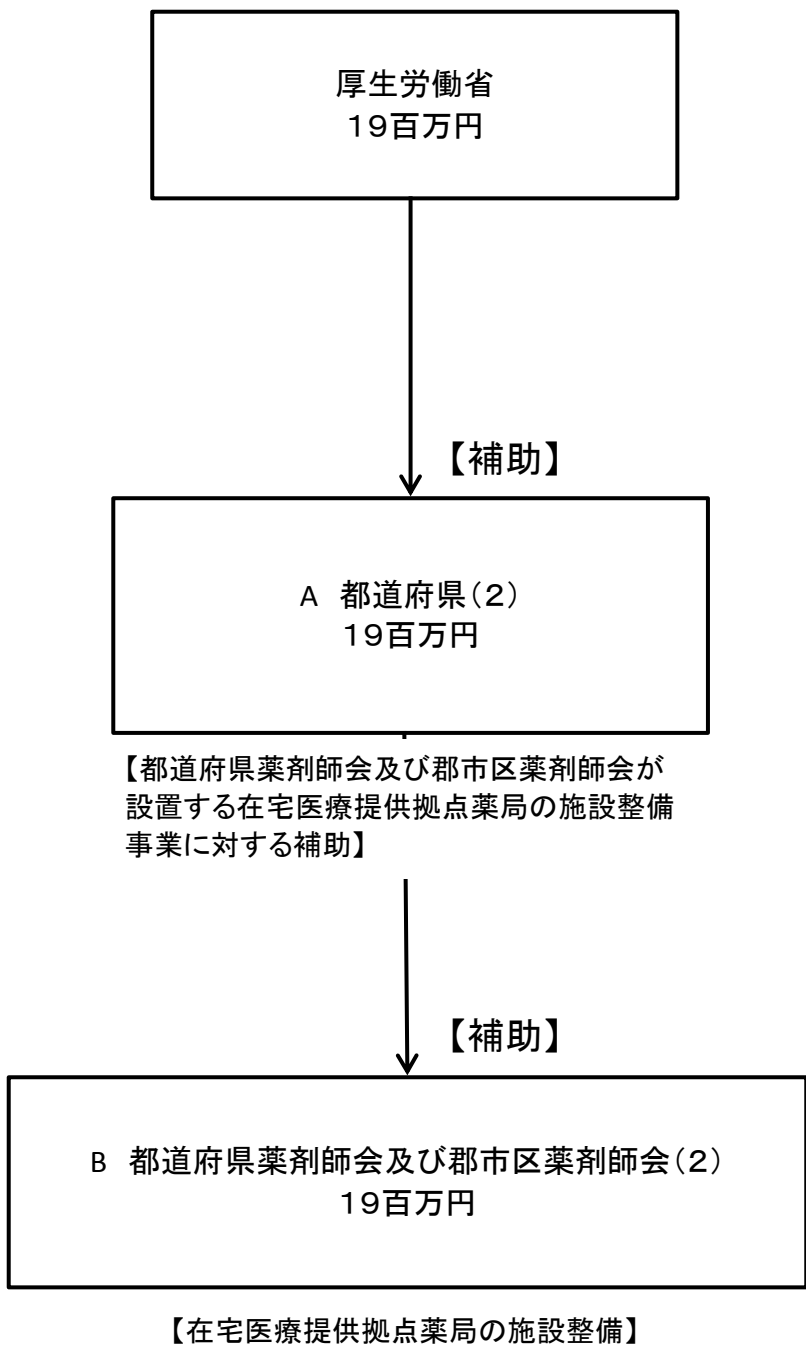
C.薬剤師会旅費

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	長崎県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.25		
2	佐賀県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.25		
3	鹿児島県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.25		
4	熊本県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.2		
5	福岡県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.2		
6	大分県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.2		
7	山口県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.2		
8	島根県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.2		
9	広島県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.2		
10	青森県薬剤師会	会議の出席等に対する旅費の支給	0.2		

平成 2 6 年行政事業レビューシート											(厚生労働省)	
事業名		在宅医療提供拠点薬局整備事業			担当部局庁		医薬食品局			作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度		開始年度：平成24年度 終了年度：平成25年度終了			担当課室		総務課			課長 鎌田 光明		
会計区分		一般会計			政策・施策名		I－6－3 医薬品の適正使用を推進すること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)		－			関係する計画、通知等		－					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		がん患者等の在宅医療を推進するため、高い無菌性が求められる注射薬や輸液などを身近な薬局で調剤できるよう、拠点薬局の無菌調剤室の共同利用体制をモデル的に構築し、もって薬局における在宅医療の推進に寄与することを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)		地域拠点薬局に無菌調剤室を整備するために必要な費用に対する補助を行う。 【補助率：10/10】										
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他										
予算額・執行額 (単位：百万円)				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求				
		予算 の 状 況	当初予算	－	160	20	－	－				
			補正予算	－	－	－	－					
			前年度から繰越し	－	－	－	－					
			翌年度へ繰越し	－	－	－						
			予備費等	－	－	－	－					
		計		－	160	20	－	－				
		執行額		－	160	19						
		執行率（％）		－	100%	95%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)		
		高い無菌性が求められる注射薬や輸液などを身近な薬局で調剤できることにより、がん患者等の在宅医療の推進を図ることを目的としていることから、無菌製剤処理加算の届出薬局数を指標とした。			成果実績	件	304薬局	435薬局	集計中			
					目標値	－	－	前年度以上	前年度以上	－		
					達成度	％	－	143.1%	－			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込		
		補助対象件数			活動実績	件	－	17	2	－		
					当初見込み		(－)	(16)	(2)	－		
単位当たりコスト		算出根拠				単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込		
		単位当たりコスト = X ÷ Y X: 本事業の補助金額 Y: 補助件数			単位当たりコスト	件	－	9,420千円/件	9,621千円/件	－		
					計算式	X ÷ Y	－	160,132千円 /17件	19,241千円/2 件	－		
平成 2 6 ・ 2 7 年度予算内訳 (単位：百万円)	費 目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由							
	医療施設運営費等補助金		－	－								
計		－	－									

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本事業は、在宅医療の推進に寄与する事業であることから、国民のニーズがあり、また国費により実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	拠点薬局の無菌調剤室の共同利用体制をモデル的に構築する事業であるため、国において整備要綱等を定め、実施すべきである。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	在宅医療の推進に寄与する事業であり、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	外部委員で組織する審査委員会を設置し、整備計画の審査を行うことにより、交付先を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	無菌調剤室の設置に必要な費用として妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	本事業は、当省が交付要綱等を定め、それに基づき、各都道府県は無菌調剤室設置に必要な経費を都道府県薬剤師会及び郡市区薬剤師会に対して交付しており、支出は合理的である。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－	－	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－	－	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	整備された無菌調剤室は地域の在宅医療の推進に活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	平成25年度は2都道府県に対し補助金を交付し、2薬局に無菌調剤室を整備したところである。整備した施設を活用していくため、無菌調剤の手技に係る研修会などを行い、在宅医療の推進に努めているところ。				
	改善の方向性	平成25年度で事業を終了した。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の達成状況等を検証し、廃止の妥当性を検討すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	事業の達成状況等を踏まえ、予定通り廃止する。					
備考						
－						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	－	平成24年	新24－018	平成25年	196

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.香川県			B.香川県薬剤師会		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	香川県薬剤師会への補助	10	工事費	無菌調剤室設置工事	10
	計		10	計		10
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.都道府県(2)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	香川県	都道府県薬剤師会及び郡市区薬剤師会が設置する在宅医療提供拠点薬局の施設整備事業に対する補助	10		
2	広島県	都道府県薬剤師会及び郡市区薬剤師会が設置する在宅医療提供拠点薬局の施設整備事業に対する補助	9		

B.都道府県薬剤師会及び郡市区薬剤師会(2)□

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	香川県薬剤師会	無菌調剤室設置工事	10	随意契約	-
2	呉薬剤師会	無菌調剤室設置工事	9	随意契約	-

平成２６年行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		薬物療法提供体制強化事業			担当部局庁		医薬食品局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		開始年度：平成25年度 終了年度：平成25年度終了			担当課室		総務課		課長 鎌田 光明	
会計区分		一般会計			政策・施策名		Ⅰ－６－３ 医薬品の適正使用を推進すること			
根拠法令 （具体的な条項も記載）		－			関係する計画、通知等		日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定) 「ライフ成長戦略」			
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		抗がん剤など使い方が難しい薬を用いた治療や適切な服薬指導などを、誰もが安心して在宅で受けられるよう、薬剤師がチーム医療の一員として訪問や相談、情報提供をスムーズに行える体制を整備するなど、地域での適切な薬物療法を推進することを目的とする。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）		実施主体である都道府県が地域の実情に応じて選択できるような形で基本メニュー及び個別メニューを国が提供し、モデル的な事業実施を通じて、地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図る。 【基本メニュー】 関係業種が一体となった効率的な薬物療法の提供 【個別メニュー(ひとつ以上を選択)】 ①抗がん剤等在宅提供支援 ②地域に応じた在宅薬局体制確保 ③医薬品の適正使用の推進 ④その他、選定・意見交換会で認められたメニュー								
実施方法		□直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 （単位：百万円）				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	－	－	40	－	－		
			補正予算	－	－	－	－			
			前年度から繰越し	－	－	－	－			
			翌年度へ繰越し	－	－	－				
			予備費等	－	－	－	－			
		計	－	－	40	－	－			
		執行額		－	－	39				
執行率（％）		－	－	98%						
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	23年度	24年度	25年度	目標値 （26年度）
		薬剤師に対して研修や実習を行い、調剤技術などの向上を図り、地域で適切な薬物療法を受けられることを目的としていることから、在宅患者訪問薬剤管理指導料の届け出をした薬局数を指標とする。			成果実績	件	－	－	集計中	
					目標値	－	－	前年度以上 （42,745薬局）		
					達成度	％	－	－	－	
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
		補助事業施設数			活動実績	施設	－	－	9	－
					当初見込み		－	－	8	－
単位当たりコスト		算出根拠				単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
		単位当たりコスト＝X／Y X:本事業の補助金額 Y:補助施設数			単位当たりコスト	百万円	－	－	4百万円/施設数	－
					計算式	X／Y	－	－	39百万円/9施設	－
平成26・27年度予算内訳 （単位：百万円）	費 目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由					
	衛生関係者養成等委託費		－	－						
計		－	－							

事業所管部局による点検・改善					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図ることを目的とした事業であることから、国民のニーズがあり、また国費により実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地域の実情に応じて選択できるような形で複数メニューを国が提供し、地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図ろうとする事業であり、国において実施すべき事業だといえる。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図ることを目的とした事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	外部委員で組織する審査委員会を設置し整備計画の審査を行うことにより、交付先を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は適当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費用・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。	
	不用率が大さい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		－	－	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		－	－	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績に見合ったものになっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業を通じて地域住民に対して適切な薬物療法の推進を図るなど十分活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検・改善結果	点検結果	医薬品の適正使用の研修会、医療機関と行政の協議を踏まえて、薬物療法を推進するための体制整備ができ、次年度における新規事業（薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業等）へとつなげることができた。			
	改善の方向性	平成25年度をもって終了した。			
外部有識者の所見					
平成25年度終了事業。適正な事業実施であるが、成果指標の集計を速やかに行い、最終的な総括を行うこと。（横田）					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の達成状況等を検証し、廃止の妥当性を検討すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	事業の達成状況等を踏まえ、予定通り廃止する。				
備考					
－					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成23年	－	平成24年	新25-0024	平成25年 新25-012

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

厚生労働省
39百万円

【委託】

A 都道府県(9)
39百万円

【地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及】

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.北海道			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	印刷製本費	お薬手帳や報告書の作成等	2.7			
	謝金	委員の謝金の支給	1.0			
	会議費	会議費として	0.6			
	その他	消耗品の購入等	0.5			
	旅費	委員の旅費の支給	0.2			
	計		5.0	計		0

支出先上位10者リスト
A.都道府県(9)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道	薬物療法提供体制強化事業委託費として	5		
2	長野県	薬物療法提供体制強化事業委託費として	5		
3	福岡県	薬物療法提供体制強化事業委託費として	5		
4	三重県	薬物療法提供体制強化事業委託費として	5		
5	長崎県	薬物療法提供体制強化事業委託費として	5		
6	宮城県	薬物療法提供体制強化事業委託費として	4.9		
7	佐賀県	薬物療法提供体制強化事業委託費として	4.8		
8	徳島県	薬物療法提供体制強化事業委託費として	3.7		
9	高知県	薬物療法提供体制強化事業委託費として	1.4		